



題字 元内閣総理大臣 小泉 純一郎 氏

発行人 一般社団法人 横須賀三浦建設協会  
〒238-0017 横須賀市上町3-2 建設会館内理事長 櫻井 健治  
TEL. 046-822-5479 (代)印刷所  
有限会社 新倉印刷

ご挨拶

理事長 櫻井 健治

**新年明けましておめでとうございます。**

平成26年の新春を迎え、会員各位、役員及び職員並びにご家族の皆様、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は協会事業に対し格別のご厚誼にあずかり、誠に有り難う存じます。

今年の干支（えと）は午（うま、馬）、午年です。陽気で流行に敏感で、開放的といわれる午ですが、字義から草木の成長が極限を過ぎ衰えを見せ始めることを意味するとも謂われ決して楽観できない年を予感させます。

さて、我々建設業界の強い要望によって実現した「横須賀市住宅リフォーム助成制度」も制度発足後2年を経過しました。昨年の第2回目助成事業申込結果を見ると195件（募集75件、競争率2.6倍）という多数の申込がありました。この事業は、市は25年度いっぱいと考えていたようですが、26年度以降も継続するよう横須賀建設業関連団体協議会をはじめ横須賀市住宅相談運営委員会、市議会会派（新政会等）からも予算要望事項として市（市長）へ働きかけを行いました。

一方、横須賀建設業関連団体協議会の共同事業として取り組んでいる「建設フェスタ」も昨年2回目を開催しました。一昨年に続き6月にソレイユの丘で開催したフェスタは、第1回日の3倍近い来場者を数え大成功に終わりました。これからも継続事業として取り組むことが決まっておりますが引き続き、会員、役員の皆様にご協力を頂けますようお願いいたします。

会員の皆様方に於かれましては、仕事が入ったけど、身体の調子が今ひとつ良くないなんて事にならないよう、常日頃から健康に気を配って頂きたい、と思います。協会が実施する集団健康診断、若しくは衣笠病院または市民病院で受診できる「人間ドック」を是非、受診して頂きたい、と考えます。

結びに、本年も協会発展のために粉骨砕身努力して参る所存であります。協会運営、諸事業の推進に関し、皆々様の一層のご指導、ご鞭撻をお願い致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 第40回 建設協会通常総会開催

一般社団法人横須賀三浦建設協会の第40回通常総会は、6月26日（火）横須賀市文化会館中ホールに96名の会員が出席し盛大に開催されました。

司会は石井清一理事（豊）、議長に和田英則理事（板金）と上野勉理事（建具）が務められました。冒頭、櫻井理事長は「本年4月1日をもって法人の形態が社団法人から一般社団法人へ移行したのに伴いより一層経営状態を改善する必要がある。役員・職員に予算面で協力をお願いしたが協会発展のため協力してほしい、又今年も安全第一、健康志向でお願いしたい」と挨拶がありました。

議案審議では、執行部が提案した4議案が、すべて可決承認されました。

更に第5号議案として「第15期役員（理事及び監事）選任」について提案があり了承されました。

総会終了後、若干休憩をとった後、展示室に22名のご来賓をお迎えして懇親会を開催、櫻井新理事長の挨拶、ご来賓の紹介に続いて、ご来賓代表として、小泉進次郎衆議院議員（顧問）、竹内英明県議会議員（顧問）、吉田雄人横須賀市長、小池克彦建設業協会理事長、菱沼知行建設業国保理事長の各氏にご挨拶戴いた後歓談、盛会裏に幕を閉じました。



## 「一般社団法人横須賀三浦建設協会」になりました！

明治時代に制定された従来の公益法人制度のもとで主務官庁の許可によって数多くの公益法人が設立されました。しかし中には、公益性に乏しく営利を目的としていながら税金面で優遇措置を受けていたり、官僚の天下りの温床にもなっていたことから、様々な問題が指摘され批判が絶えませんでした（話題になった法人に漢字検定協会がある）。

そこで、平成20年12月1日、以下の3つの法律が施行されました。

- ・一般社団法人及び一般財団法人に関する法律
- ・公益財団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律
- ・一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律

これらの法律によって、公益社団法人、公益財団法人、一般社団法人、一般財団法人の4つの法人が設立できることになり、向こう5年間（平成25年11月30日迄）をかけてこれら4つの内のいずれかの法人格を取得するべく全国約2万4千の法人が手続きを行ってきました。当建設協会もこのうちの1つの法人です。当協会は、「一般社団法人」格を取得するべく平成24年4月より辻・本郷税理士法人という専門家の支援を得て、認可取得に向け活動を行ってきましたが平成25年4月1日付で一般社団法人横須賀三浦建設協会の認可を取得し、登記をしました。

（事務局記）

## 第2回よこすか建設フェスタ開催される (いろいろ体験 ゆめ体験)

6月2日(日)第2回建設フェスタが長井ソレイユの丘で盛大に開催されました。午前9時30分、中央ステージにおいて、小泉衆議院議員、竹内県議会議員、沼田副市長、原長井地区連合町内会長出席のもと式典が開催されました。主催者挨拶で、横須賀建設業関連団体協議会の小池理事長(建設業協会会長)は、「横須賀の建設業界は元気がない、何とかこの状況を打破したい。このフェスタの開催を通じて元気を取り戻したい、来年も開催できるよう頑張りたいのでご協力をお願いします」と挨拶がありました。引き続き、来賓からご挨拶を頂きました。そして傘下団体の当協会の他、建設業協会、塗装組合、管工事組合、電気工事組合及び緑化造園組合、新しく加わった内装組合の各トップの紹介・挨拶があり式典の閉会となりました。午前10時から午後3時迄は、大駐車場及び中央ステージ近くの本会場の3カ所に分かれて、関連団体協議会傘下の7団体がそれぞれ趣向を凝らした催し物を披露しました。大駐車場では多くの重機が準備され、子供たちが重機の上で写真を撮って貰ったり、ショベルカーに乗って運転気分を味わったり、と楽しんでいました。私達の協会は、ものづくりと作品展示・販売を主体に子供たちと父兄を楽しませました。大工組合は「ミニすのこづくり、作品展示販売」、左官組合は「光る泥だんごづくり」、石材組合は「石臼コーヒー、はり絵づくり」、表具組合は「携帯ストラップづくり」、建具組合は「組子コースター」、板金組合は「作品の展示販売」、瓦組合は「瓦展示」、造園組合及び電気組合は協同組合と連携したイベントに参加しました。役員皆さん!半年に亘る企画検討、当日までの準備とご苦労様でした。



## 集団健康診断

9月12日(木)及び13日(金)の両日、横須賀市文化会館に於いて協会主催の健康診断が行われました。受診者数は2日間で併せて59名でした。例年に比べるとちょっと少ない受診者数ですが、この機会を逃された方は是非、衣笠病院もしくは市民病院での「人間ドック」を受診されることをお勧めいたします。



## 平成25年度 技能功労者等表彰

おめでとうございます！

【順不同・敬称略】

全国技能士会連合会会長賞（功労賞）  
 神奈川県職業能力開発協会会長賞（技能検定関係功労賞）  
 建災防神奈川支部支部長賞（功績賞）  
 横須賀市長賞 技能功労者

大工職	山田和徳
表具職	鈴木浩
左官職	櫻井健治
大工職	曾我敏夫
造園職	関義男
左官職	館花猛雄
〃	五十嵐孝雄
表具職	日高節男



## 第45回 技能コンクール

11月2日（土）、第45回技能コンクールが今年も県立産業技術大学校にて開催されました。横須賀三浦建設協会から建築大工、建築左官部門より参加し、好成績を挙げました。

神奈川県知事賞（優勝）  
 大工職 若命省吾

神奈川県知事賞（優勝）  
 左官職 阿久津 剛



## 木建協横須賀地区労働・交通安全大会

恒例の、木建協安全大会が、10月29日（火）午後6時40分より横須賀市文化会館大ホールに519名（昨年505名）の参加者を集めて盛大に開催されました。本大会では、主催者の千葉会長の挨拶に続き、岡部労働基準監督署長をはじめ、米田神奈川木建協会長、秋山建災防横須賀分会会長など来賓のご挨拶があった後、監督署桐山安全衛生課長による安全ビデオ上映と講演がありました。

この後、横須賀警察署から交通安全に関する講演があり、大会は盛会裏に午後8時30分に終了しました。

建設協会の参加者は108名（昨年108名）でした。

参加者の皆様、そして役員の皆様大変ご苦勞様でした。当日の参加者名簿は、翌朝木建協事務局に提出しましたが、その日のうちに労働基準監督署に提出した旨報告がありました。

本大会最後に採択した安全の誓いの中で誓った「安全作業のポイント」は次の5項目です。

1. 足場先行工法の完全実施
2. 室内2階以上の作業における開口部の転落防止措置の早期実施
3. 高所（2m以上）における、安全带・保護帽の完全着用と使用の厳守
4. 脚立・梯子等の使用時の安全確認と正しい使用
5. 木材加工用機械（丸鋸等）の刃の接触予防措置（安全カバー等）の完全使用

いずれも重要事項であり日々これらを厳守した安全作業を心掛けましょう！



## 供養塔慰霊祭

9月2日（月）午前10時より、深田台「龍本寺本堂」に於いて残暑厳しきなか執り行われ、三名の物故者に対する供養を行いました。



## ものづくり体験教室

8月25日(日)午前10時より、小田原市民会館に於いて開催されました。前日にミニすのこ・石けん受台・シャンプー台等の準備を行い、当日は子供達に真剣にものを組立て、つくり上げる体験をしてもらいました。

また、子供達は出来上がった作品を嬉しそうに抱えて持ち帰って行きました。



## よこすか産業まつり 2013

11月9日(土)・10日(日)に三笠公園にて、大工組合としてよこすか産業まつりに参加しました。今年で10回目の出店になり、2日間を大工組合、並びに組合員の活動のPRを行いました。

当日は、大工技術、ものづくり、手作りの良さを知ってもらうため、子供達にミニすのこづくりを体験してもらいました。出来上がった作品は200円で販売、その他組板(まないた)、脚立等も販売しました。



## かながわしごと・技能体験フェスタ 2013

11月9日(土)・10日(日)パシフィコ横浜にて、かながわ若年技能者人材育成支援等事業として行われました。

当協会はものづくり体験教室として大工組合より貯金箱、写真立て、フタつき小物入れ、の作製体験を行いました。無料の体験ということで、両日ともたくさんの来場者で賑わい、大変盛況でした。

又、会場内には木造建築の建て方のデモンストレーションや左官の壁仕上げ、内装クロスの仕上げ等が行われ、来場者の注目を集めていました。



## 日赤衣笠分団まつり

11月17日(日)午前10時より、衣笠行政センターに於いて、横須賀市赤十字奉仕団衣笠分団主催によりバザーをはじめたくさんの催しが行われ、大勢の人で一日中賑わっていました。

また、(一社)横須賀三浦建設協会の大工組合が中心となってこの行事に協力しました。今年は、住まいの相談と本立て・シャンプー台・ミニすのこ・石けん受台・まな板等を販売、児童を対象にした木工教室の開催、左官組合・板金組合の作品展示を行いました。

木工教室では、子供達に小物入れを組立てる体験をしてもらい、出来上がった作品を嬉しそうに持ち帰って行きました。



## 人間ドックを受診しましょう

(一社)横須賀三浦建設協会では、毎年9月に横須賀市文化会館に於いて集団健康診断を実施していますが、この集団健康診断を受診されなかった方のために、人間ドック受診のご案内をします。

また、病院にて健診を受けますと補助金が出ます。国保組合では、特に下記の2つの病院と連携をしておりますので、受診時にかかる自己負担が軽減されます。

また、この健診コースは、都合のよい日程で受診できる利点がありますので、まずは電話にて予約を入れましょう。

## ■衣笠病院 健康管理センター

【所在地】横須賀市小矢部2-23-1

【電話番号】046-852-1116

【予約受付】月曜日から金曜日までは 午前10時から午後4時まで  
土曜日 午前10時から正午まで

【健診コース】人間ドック 38,500円 (自己負担 8,500円)  
生活習慣病健診 12,500円 (自己負担 2,500円)  
婦人科コース 21,950円 (自己負担 4,390円)



## ■横須賀市立市民病院 健康管理センター

【所在地】横須賀市長坂1-3-2

【電話番号】046-858-1851

【予約受付】月曜日から金曜日までは 午前8時30分から午後5時まで  
土曜日 午前8時30分から午後12時30分まで

【健診コース】人間ドック 42,000円 (自己負担 12,000円)  
生活習慣病健診 16,500円 (自己負担 3,300円)  
婦人科コース 27,000円 (自己負担 5,400円)

## 編集後記

3月31日(日)午前10時から正午まで、協会主催の「ウォーキング」がありました。集合時間までは大雨でしたが、ウォーキング開始とともに雨が小降りになり、何とか傘無しで金沢八景駅を出発し、参加者24名八景島シーパラダイスに無時到着しました。何故か、筆者が参加する催し物には雨が多いです。(鈴木貴幸記)

